

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	図書館資料購入事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	10	05	07	02	51
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	図書・博物館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進		主管課長	小栗 信一郎				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	図書館を利用する市民	意図	図書館資料を利用した際に満足してもらう。
事業内容	市民がいつでもどこでも生涯学習ができる環境を整えるため、図書館として「流山市立図書館資料収集基準」に基づき、また市民の方々からのリクエストを参考に図書館が所蔵すべき資料を購入する。			
事業開始から現在までの状況変化	図書館の資料として、図書・雑誌・新聞・追録・紙芝居等の紙媒体、CD・DVD・電子書籍等の資料を購入している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）															
		①	図書購入冊数	17,592	13,513	15,500		冊	↑↑↑													
②	図書貸出冊数(月平均)	82,786	89,432	94,904	冊	↑↑↑																
③	視聴覚資料購入点数	789	779	281	点	↑↑↑																
④	視聴覚資料貸出点数(月平均)	6,801	7,116	7,440	点	↑↑↑																
指標で表すことができない定性的な成果	<p>目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）</p> <p>「1人当たりの蔵書資料についての近隣市との比較」</p> <table border="1"> <tr><td>1</td><td>野田市</td><td>3.76冊</td></tr> <tr><td>2</td><td>我孫子市</td><td>3.19冊</td></tr> <tr><td>3</td><td>流山市</td><td>2.70冊</td></tr> <tr><td>4</td><td>柏市</td><td>2.22冊</td></tr> <tr><td>5</td><td>松戸市</td><td>1.20冊</td></tr> </table> <p>（平成26年度統計） 流山市を除く4市平均は、2.59冊である。</p>							1	野田市	3.76冊	2	我孫子市	3.19冊	3	流山市	2.70冊	4	柏市	2.22冊	5	松戸市	1.20冊
1	野田市	3.76冊																				
2	我孫子市	3.19冊																				
3	流山市	2.70冊																				
4	柏市	2.22冊																				
5	松戸市	1.20冊																				
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度																			
事務事業の総コスト(a=b+c)	46,077,855	41,982,291	42,896,363																			
事業費(b)(円)	36,994,755	32,999,291	32,997,763																			
うち一般財源	36,994,755	32,999,291	32,997,763																			
職員給与費(c)(円)	9,083,100	8,983,000	9,898,600																			
人役・職員(人)	1.30	1.30	1.30																			
人役・再任用(人)																						
人役・臨職(人)			0.10																			
人役・嘱託(人)																						
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）																						
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）																						

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	図書資料の刷心を図りたい。	③取組の課題	図書の契約が一年契約のため、年度末の新刊図書購入の停滞が生じている。
②今年度(H27)に実施した取組	新刊データの更新を毎週行い内容詳細等まで検索が可能になった。このデータを参考に展示本・講座等に必要資料を積極的に収集した。	④今後の改善計画	図書納入業者の一年契約の改善。